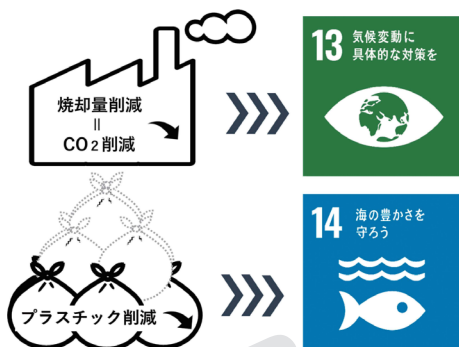


実践！ごみ減量のススメ

ごみの減量をススめる**5**つのワケ

ごみ減量には
ワケがある！

SDGsに貢献



ごみの焼却量を減らすことは、地球温暖化の原因となるCO₂排出量の削減に繋がり、SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」の達成に貢献でき、また、プラスチックの削減は海洋資源の保全に繋がり、目標14「海の豊かさを守ろう」の達成に貢献できます。

企業のイメージアップ



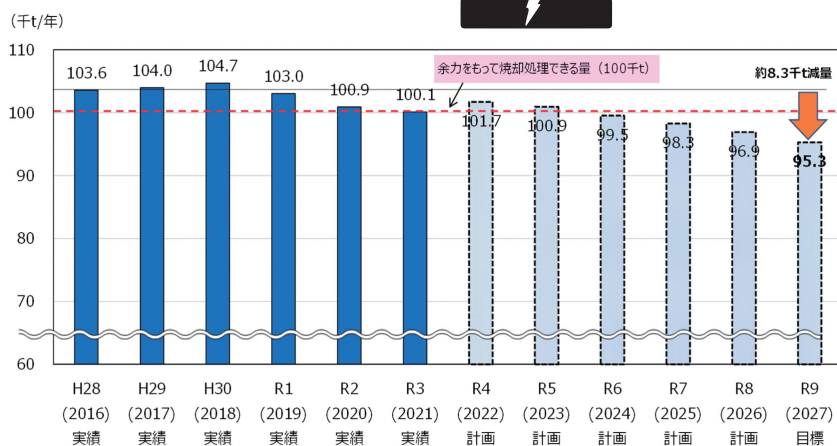
SDGsの取組みとしてごみの減量を推進することは、環境問題への社会的責任を果たすことに繋がり、地球や社会に優しい社会的意義のある取組みをする企業であるというアピールができます。そしてそれは、確実に企業のイメージをアップさせます。

コスト削減



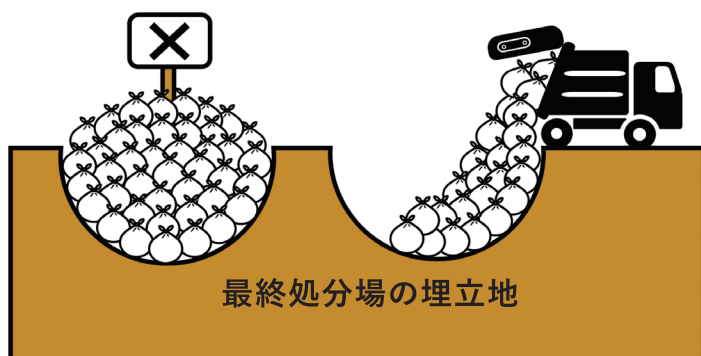
ごみを減らすことで、ごみ収集の費用やごみ袋の購入費など、ごみ処理にかかるコストの削減が期待できます。

災害への備え



現在、一般廃棄物の処理施設である豊中市伊丹市クリーンランドには、余力を持って焼却処理できる量を上回るごみが搬入されています。地震や台風などの災害時には、非常に多くのごみが発生することが考えられます。いつ起こるかわからない災害に備え、処理施設の余力を確保するためにも、ごみの減量は必要です。

処分場の延命化



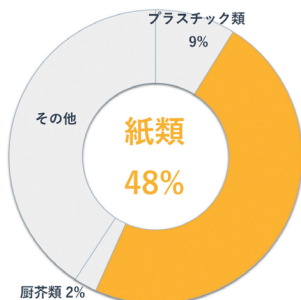
豊中市伊丹市クリーンランドで焼却処分された後に残った焼却灰は、最終処分先である、大阪湾フェニックスセンターの埋立処分場で処分されます。埋立処分ですので、いつかは満杯になります。今後も、安定的な最終処分場を確保するためには、できるだけごみを減らし、最終処分場の延命化を図る必要があります。

出典：一般廃棄物処理基本計画

業種別 ゴミ減量のススメ方

※発生量のデータは令和2年度（2020年度）事業系ごみ排出実態調査より抜粋

事務所



- 発生量の約半分が紙類
- 紙類の発生抑制・リサイクルがポイント



ファイル共有サービスの利用

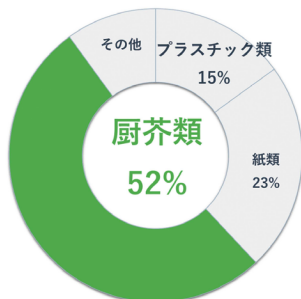


紙資料の電子化



これまで廃棄処分していた紙類をリサイクル

飲食店



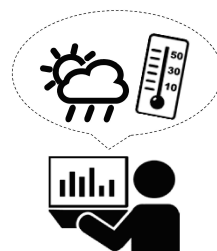
- 発生量の半分以上が厨芥類
- 食材廃棄の削減がポイント



ハーフサイズメニューなどの設定

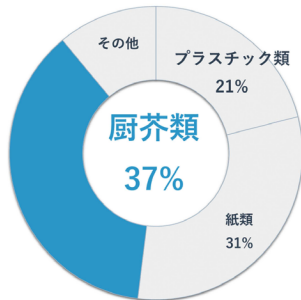


ドギーバッグ（持ち帰り容器）の導入



天候・気温などによる販売量等のデータを解析

小売店



- 発生量の約4割が厨芥類
- 売れ残りの削減がポイント



賞味期限が近い商品の値引き（食品ロス削減に取り組んでいることもアピール）



魚アラや廃油のリサイクル



梱包資材の削減

ごみの減量は、私たち一人ひとりの小さな行動から始まります。
持続可能な社会の実現のための第一歩を踏み出してみませんか？

事業活動に伴って排出される廃プラスチックは産業廃棄物です

豊中市伊丹市クリーンランドで行っている搬入物検査で見つかる違反物の大半が、廃プラスチックです。
事業活動に伴って排出される廃プラスチックは、産業廃棄物として適正に処理しなければならないことが、廃棄物処理法により定められています。廃プラスチックの適正処理にご協力をお願いします。



※ペットボトルなどは適正に分別、処理を行うことで、リサイクル処理することが可能な資源物になります

【バックナンバーについて】

「Renews」はバックナンバーも含め市ホームページからご覧いただけます。



【発行】 豊中市 環境指導課 一般廃棄物指導係
TEL06-6858-2278 Mail kansidou@city.toyonaka.osaka.jp
【協力】 豊中商工会議所